

体育

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	スポーツⅣ	2	3年次・Ⅰ2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
		Active Sports		3年次のスポーツ科学系列選択者

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
ダンスの推進や発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	フォークダンス	4	・日本の民謡や外国のフォークダンスの文化的背景や動きの特徴を理解し、自己の能力に応じた課題を選んで踊りを身に付けたり、相手との対応の仕方を工夫したりして、みんなで楽しく踊って交流することができるようにする。また、踊りを通して自国の文化や異文化の理解を深めることができるようにする。・柔道に対する興味や関心を高める。	1 2
			5		1 3
			6		1 2 3
			7		1 2
			7		1 2 3
	2 学 期	創作ダンス	9	・表現したいテーマを全身の動きで自由に表現する創作ダンスの特性を理解し、自己の能力に応じた課題をもって、いろいろなテーマによる即興表現を工夫したり、気に入ったテーマを作品にまとめたりして、みんなで楽しく交流し、発表することができるようにする。	1 2
			10		1 3
			11		1 2 3
			12		1 2 3
	3 学 期	現代的なリズムのダンス	1	・全身でリズムを捉えて自由に即興的に踊る現代的なリズムのダンスの特性を理解し、自己の能力に応じた課題を選んで、動きや相手との対応の仕方を工夫してみんなで踊ったり、まとまりのある動きを工夫して発表し合ったりすることができるようにする。	2 3
			2		1 2 3
			3		

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学 習 評 価	規 準	○多様に実践するための事項及びスポーツを推進・発展するための事項を理解している。 ○多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付け、他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言語で他者に表現できている。	○映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示して伝えようとしている。 ○仲間と話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を身付け、仲間に伝えようとしている。	○スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組もうとしている。
	手 段	・実技テスト ・個人記録、動画確認 ・定期考査の知識問題の解答	・練習中や試合中の行動の観察 ・レポートや課題の内容 ・定期考査の論述問題の解答	・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況 ・課題、レポートへの取組の評価
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・授業や提出物、定期考査における「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。 ・実技点：考査点：平常点を5：3：2の割合で評価する。	
学習上の留意点	・実技を中心としているため出席を重視する。 ・速やかに更衣を行い、授業開始に遅れないようにする。ファイル、タブレット、筆記用具を持参する。 ・先入観を持たず、主体的に取り組む場面を増やしていく。 ・個人の身体の特徴によって記録は異なる。仲間との記録の比較ではなく、自分の記録の推移を評価し、懸命に取り組んでいる仲間を尊重すること。			